

ネットワーク

国内拠点

- 本社・支店・オフィス
- 工場
- 研究開発拠点
- 関係会社



海外拠点





サステナブルな明日を創る

南海化学グループは明治39年(1906年)の創業以来、化学品メーカーとして100年を超える歴史を歩み続けてきました。特に当社が製造する基礎化学品をはじめとする製品は、あらゆる産業や生活に必要な不可欠なものであり、「化学品事業を通じて地球環境と豊かな社会の創生に貢献する」ことを企業理念としています。また皆様のお力添えのもと2023年4月に東京証券取引所スタンダード市場に上場しました。これまで以上にこの理念を真摯に貫き、化学品事業の価値向上と成長領域と位置付ける環境リサイクル事業を強化し、更なる成長と社会・環境の三価値同時実現を目指してまいります。

上記の実現に向け2025年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画を策定しました。その中核を成す3つの施策である「収益基盤の強化」、「環境リサイクル事業領域の拡大」、「サステナブル経営の推進」に取り組み、社会環境の変化に対応しながら、ステークホルダーの皆様からの信頼と期待に応えていきたいと考えています。

これからの南海化学グループにご期待いただくとともに、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 杉岡 伸也

会社概要

- 社名 南海化学株式会社
- 創業 明治39年(1906年)
- 設立 昭和26年(1951年)
- 資本金 454,139,200円
- 主要取引銀行 三井住友銀行、三菱UFJ銀行、紀陽銀行、四国銀行 他
- 従業員 213名(男性168名、女性45名)
2024年3月現在
- 関係会社
エヌシー環境株式会社
〒640-8404 和歌山市湊1342番地
TEL: (073)431-2487
FAX: (073)431-2489

株式会社エヌエムソルト
〒641-0036 和歌山市西浜1660番625号
TEL: (073)448-2054
FAX: (073)448-2073
URL: <http://www.nmsalt.co.jp>



JQA-2774 和歌山工場
JQA-QM3683 土佐工場
JQA-EM0745 和歌山工場
JQA-EM1174 土佐工場

事業案内



沿革

- 1906年 南海硫酸株式会社創業
- 1907年 和歌山市鼠島にてルブラン法によるさらし粉製造開始
- 1911年 和歌山市湊にて硝酸式硫酸製造開始
- 1918年 和歌山市小雑賀にてネルソン式電解によりか性ソーダ並びに塩化物製造開始
- 1925年 土佐硫曹株式会社を設立
- 1937年 南海化学工業株式会社と改称
- 1939年 株式会社中山製鋼所に合併
- 1951年 南海化学工業株式会社として設立、資本金1,500万円
- 1959年 廃硫酸ばい焼による硫酸製造開始
- 1965年 土佐工場において高度さらし粉の製造開始
- 1986年 和歌山工場か性ソーダ製法を従来の水銀法からイオン交換膜法に転換
- 1990年 資本金2億700万円に増資
- 1994年 青岸工場水処理剤ポリ塩化アルミニウム製造開始
- 2000年 資本金3億300万円に増資
- 2002年 一般用塩の製造販売を目的として株式会社エヌエムソルト設立
- 2003年 研究開発部門を分社化 株式会社南海化学アールアンドディー設立
- 2004年 株式会社山藤を子会社化
- 2006年 富士アミドケミカル株式会社を子会社化
- 2010年 南海化学株式会社と改称、環境リサイクル部門を分社化 エヌシー環境株式会社設立
- 2013年 南海グローバルケミ株式会社(SPC)が中山製鋼所の所有する南海化学株式の全株を取得
- 2013年 南海グローバルケミ株式会社と合併、資本金454,139,200円に増資
- 2018年 株式会社山藤を吸収合併し、京都支店を開設
- 2019年 南海化学アールアンドディーを吸収合併
- 2020年 興南産業株式会社を吸収合併
- 2023年 富士アミドケミカル株式会社の事業を終了
南海化学株式会社 東京証券取引所スタンダード市場へ上場

南海化学のSDGsへの取り組み事例

ジェンダー平等の実現に向けた取り組み

女性にとって働きやすい職場環境をつくることは、ジェンダーに関わらず、多様な背景をもつ社員全員にとって働きやすい職場となることと考えています。南海化学グループでは、女性が生き生きと活躍できる職場環境を整えることや女性社員のキャリアアップの機会を増やすことにより、企業の経営効率を高めるとともに持続的成長に寄与することを目指して、2018年7月に女性活躍推進タスクフォースを発足し、継続した活動を行っています。社員のニーズを把握し、仕事と育児の両立支援、柔軟な働き方への対応など様々な取り組みを進めています。



社会との対話

レスポンスブル・ケア活動に関する情報・活動を社会に公表し、活動の透明性を高めるとともに活動レベルの向上を図っています。例えば、和歌山工場では、「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」の一環で、地元工業高校生を対象にした支援活動として、年1回化学技術科の学生を和歌山工場に招待して「オープンキャンパニー」に取り組んでいます。また地域行事のボランティア活動や各コミュニティに積極的に参加し、社会とのコミュニケーションを深めています。

